

# 電気化学的防食工法 「リペアカーテン」

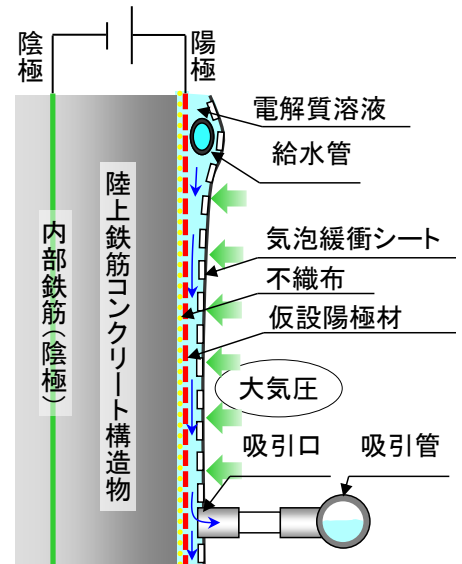
## コンクリートを研らない塩害・中性化の補修技術

### リペアカーテンの概要

リペアカーテンは、電気化学的防食工法のうち「再アルカリ化工法」「脱塩工法」および「電着工法」の施工技術であり、土木学会発行の電気化学的防食工法指針では「簡易給水方式」として分類されています。

中性化や塩害による劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物に直流電流を通電することにより、劣化したコンクリートを健全な状態に回復させる効果が得られます。

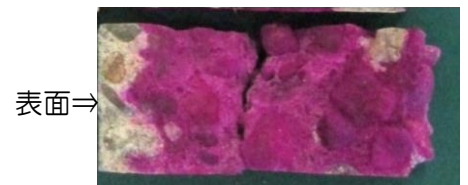
大気圧を利用して気泡緩衝シートをコンクリート面に押し付けることで、コンクリート面に電解質溶液の水膜を形成すると同時に仮設陽極材を密着させます。これにより、確実に通電でき、高い補修効果が得られます。



標準的な施工断面



供用中の市道橋脚への適用状況（再アルカリ化）



適用前（中性化深さ28.5mm）



適用後（中性化深さ0mm）

再アルカリ化効果

### 技術情報

- ① 土木学会発行 コンクリートライブラリ-157電気化学的防食工法指針：「簡易給水方式」として掲載
- ② NETIS 2件登録：【塩害対策】KT-190114-A／【中性化対策】KT-190115-A
- ③ 一般財団法人エンジニアリング協会「2021年度 エンジニアリング奨励特別賞」受賞